

チーム三菱ラリーアート、アジアクロスカントリーラリー2026 で連覇に挑む

三菱自動車工業株式会社（以下、三菱自動車）が技術支援する「チーム三菱ラリーアート」は、8月9日（日）～15日（土）、タイで開催されるアジアクロスカントリーラリー（以下、AXCR）2026に、ピックアップトラック『トライトン』の3台体制で参戦し、大会連覇を目指します。チームは開幕を目前に控えた8月4日、タイ・チャチュンサオ県のオフロードコースで最終確認の試験走行を実施し、大会本番に向けて万全の準備を整えました。



チーム三菱ラリーアート

チーム三菱ラリーアート総監督 増岡浩のコメント

「いよいよ AXCR2026が始まります。チームは5月の耐久テストから改良と熟成を重ね、開幕直前のシェイクダウンで車両、ドライバー、サービス体制のすべてにおいて高い完成度を確認することができ、チーム一丸となって総合優勝、大会連覇を狙います。AXCRは極限環境のなかでクルマと人を鍛え上げる場でもあります。ここで得られる知見を今年度投入予定の『パジェロ』をはじめとした今後の商品開発に活かしてまいります」

チーム三菱ラリーアートドライバー チャヤボン・ヨーター選手

「今年は前年覇者としてのプレッシャーよりも、自分たちが積み重ねてきた準備への自信の方が大きいです。『トライトン』は昨年以上に信頼性と競争力が高められており、シェイクダウンでも非常によいフィーリングを得ることができました。AXCRは最後まで何が起こるかわからない過酷なラリーですが、すべてのステージで勝利を目指して戦い、総合優勝をチームにもたらしたいと思います」

チーム三菱ラリーアートドライバー 田口勝彦選手

「AXCRは今年で4回目の挑戦となり、総合優勝を争う覚悟で大会に臨みます。チームとしてはチャヤボン選手を中心に連覇を目指しますが、私自身も表彰台、そして優勝を狙える準備ができています。シェイクダウンでは車両の完成度の高さを改めて確認でき、どのような路面状況でも戦える手応えを感じています。長く厳しいラリーになりますが、一つひとつのステージを確実に攻略し、チームの総合優勝と大会連覇に貢献したいと思います」

チーム三菱ラリーアートドライバー 小出一登選手

「今年は全てのスペシャルステージ（競技区間）を走り切り自身の結果を残すことはもちろん、2台のサポートにも全力で取り組み、チーム一丸となって総合優勝と大会連覇に貢献できるよう全力を尽くします。また、今回のラリーで得られた知見に加え、

挑戦を通じて培われた人と組織の成長をしっかりと持ち帰り、今後の市販車開発へフィードバックしていきたいと思います」

AXCR スペシャルサイトでデیلیーレポートを配信

三菱自動車では、8月10日（月）の大会初日から15日（土）の最終レグまで、最新のデیلیーレポートを同社のAXCR スペシャルサイトで紹介します。

<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/brand/ralliart/axcr/axcr2026/>

1. AXCR2026 年大会概要

AXCR は、ジャングルや泥濘路、渡河区間、山岳路など多彩な未舗装路を走破するアジア最大級のクロスカン트리ラリーです。東南アジア特有の高温多湿な環境のなかで競われる過酷なモータースポーツであり、車両性能だけでなく、ドライバーやコドライバーの判断力、チーム全体の総合力、そして高い信頼性が求められます。三菱自動車は、こうした極限環境で得られた知見を市販車の商品力向上や技術者育成に活用しています。

2026 年大会は8月9日（日）から15日（土）にかけてタイ国内で開催されます。パタヤをスタートし、プラーチンブリー、ナコーンサワン、カンペンペットを経て、ピッサヌロークでフィニッシュを迎えるルートで、総走行距離は約 2,000km です。2026 年大会には四輪部門 43 台、二輪部門 36 台の合計 79 台が参戦します。

2. 「チーム三菱ラリーアート」サポートカー概要

「チーム三菱ラリーアート」のサポートカーとして、今年も『デリカ D:5』4 台がラリー全行程に帯同します。競技車両のメンテナンスやチーム運営を支えるほか、過酷な未舗装路やウェット路面でも高い走破性を発揮し、迅速なサービス体制の構築とデータ収集を支援します。

4 台のうち 1 台には、車両運動統合制御システム「S-AWC (Super-All Wheel Control)」を搭載した現行型『デリカ D:5』を採用し、増岡総監督やエンジニアの移動、コース視察などに使用します。また、同車には新たなラッピングデザインを採用しています。

カラーリングはラリーカーと共通のデザインを採用し、力強いレッドカラーによって三菱自動車のモータースポーツへの情熱を表現しています。

3. 「チーム三菱ラリーアート」参戦体制

チームはタイのタントスポーツが運営し、三菱自動車から増岡浩が総監督として参画します。開発部門のエンジニアも車両開発および競技期間中の技術サポートを担当します。ドライバーには、2022 年と 2025 年大会の総合優勝ペアであるチャヤボン・ヨーター／ピーラボン・ソムバットウォン組に加え、2025 年大会で日本人ペア最上位となる総合 5 位を獲得した田口勝彦／保井隆宏組、小出一登／千葉栄二組を起用します。

<AXCR2026 公式サイト>

https://asiacrosscountryrally.com/index_ja.html

<ラリーアート公式 SNS>

X : https://x.com/ralliart_jp

Instagram : <https://www.instagram.com/ralliart.official/>

AXCR スペシャルサイト : <https://www.mitsubishi-motors.com/jp/brand/ralliart/axcr/axcr2026/>

三菱自動車について

三菱自動車は、ラリー活動で培った四輪制御技術と、長年にわたり蓄積してきた電動車開発の知見を有する自動車メーカーです。ルノー・日産アライアンスの一員として、日本およびアセアン諸国に生産拠点をもち、グローバルで約 28,000 名の従業員が働いています。プラグインハイブリッド EV の『アウトランダーPHEV』、ピックアップトラック『トライトン』、軽自動車『デリカミニ』など、あらゆる路面状況や使用環境に対応可能な商品ラインアップを通じて、お客様の冒険心を喚起し、心豊かなモビリティライフを提供することを目指しています。三菱自動車は、鍛え上げた四輪制御技術や電動化技術を活かした「三菱自動車らしい」個性的な商品を創出すべく、技術をさらに磨き上げ、真摯にクルマづくりに向き合い、引き続きお客様にワクワクするようなモビリティライフをお届けしてまいります。詳細については、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/company/information/index.html>

以上